

「大分市水素利活用計画（案）」の市民意見公募において寄せられた意見等の概要とそれに対する本市の考え方

意見提出期間：平成29年7月3日（月）～平成29年8月2日（水）

意見の提出者：2人

意見件数：3件

番号	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	大気汚染、温暖化を考えると、一刻も早い水素社会の実現が必要である。	利用時に二酸化炭素や大気汚染物質を排出しない水素を利活用することは、本市における温室効果ガス排出量の低減に資する有効な方策の一つであることから、第1章「計画の目的」において、水素社会の早期実現に向けた取り組みを推進することとしております。
2	燃料電池自動車について、フォークリフト、市営バス、シェアカー、郵便配達車などの産業用車両へ導入してはどうか。	第4章「水素利活用施策」(2)「大分水素スマートコミュニティ推進戦略」の取組2で「公共、事業所、家庭における燃料電池自動車の導入促進」を掲げております。具体的な取り組みとしましては、多様なタイプの燃料電池自動車やフォークリフトの開発が進んでいることから、バス、タクシー、輸送業者等の交通事業者や工場事業者への導入を促進するよう、普及啓発を進めることとしております。
3	ホテルのエネルギー源として、燃料電池を使用してはどうか。	第4章「水素利活用施策」(2)「大分水素スマートコミュニティ推進戦略」の取組1で「公共、事業所、家庭における定置型燃料電池の導入促進」を掲げております。具体的な取り組みとしましては、電気と熱を多く使用するホテルを含めた事業者において、業務・産業用燃料電池の普及促進を図ることとしております。